勤務先における
メール誤送信の実態調査

2015年7月28日

デジタルアーツ株式会社

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

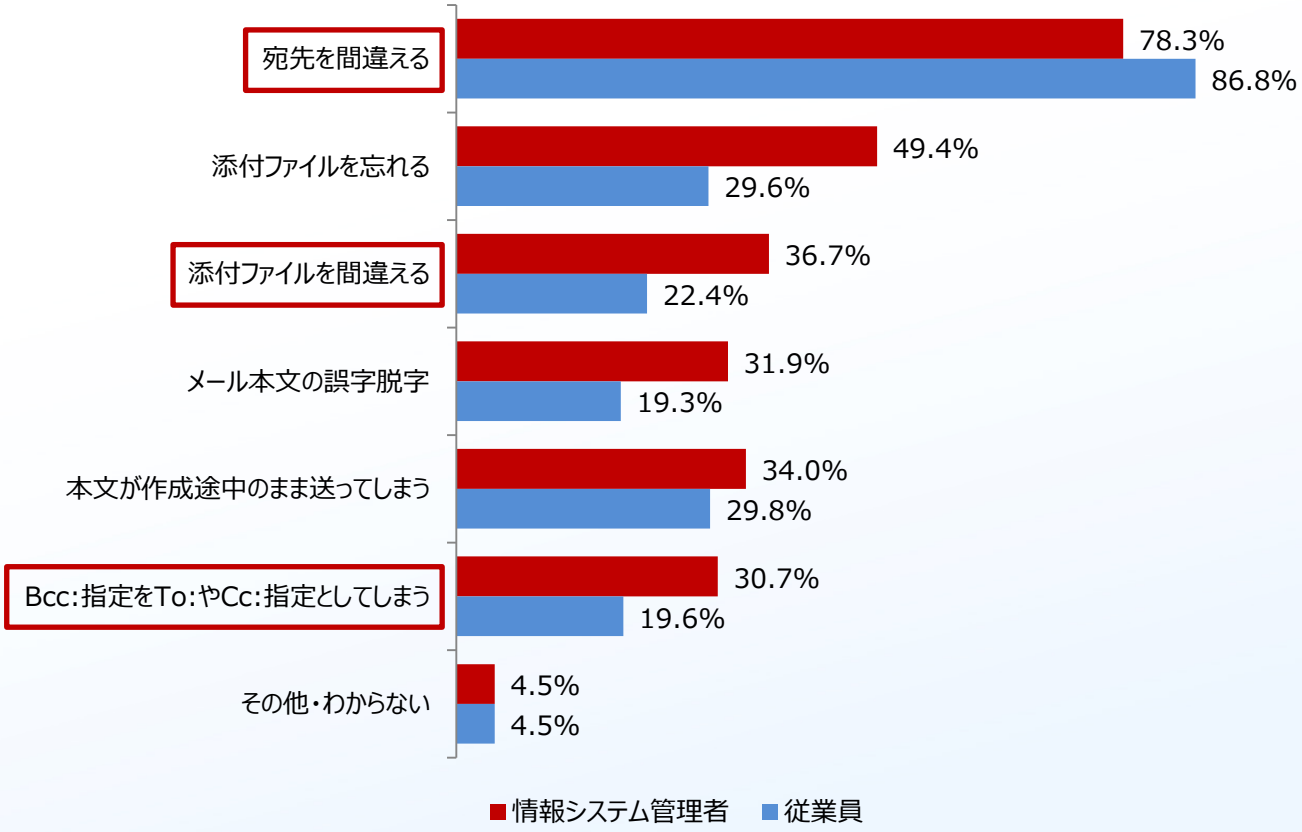
調査概要

調査内容	勤務先におけるメール誤送信の実態調査
調査目的	近年、企業に勤務する従業員のメール誤送信による機密情報や顧客情報といった重要情報が漏洩し、2次的に悪用される事例も増加傾向にあることから、従業員側と情報システム管理者側に実態調査を実施
調査方法	インターネットリサーチ
エリア	全国
調査対象	全国の20歳以上の就業者（男女）
回答数	1,434名（情報システム管理者：332名、従業員：1,102名）
実施期間	2015年3月27日（金）～29日（日）
調査企画	デジタルアーツ株式会社
調査機関	Fastask

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

メール誤送信に対するイメージ

Q 誤送信と聞いて、思い浮かべることは何でしょうか？ <複数回答可>



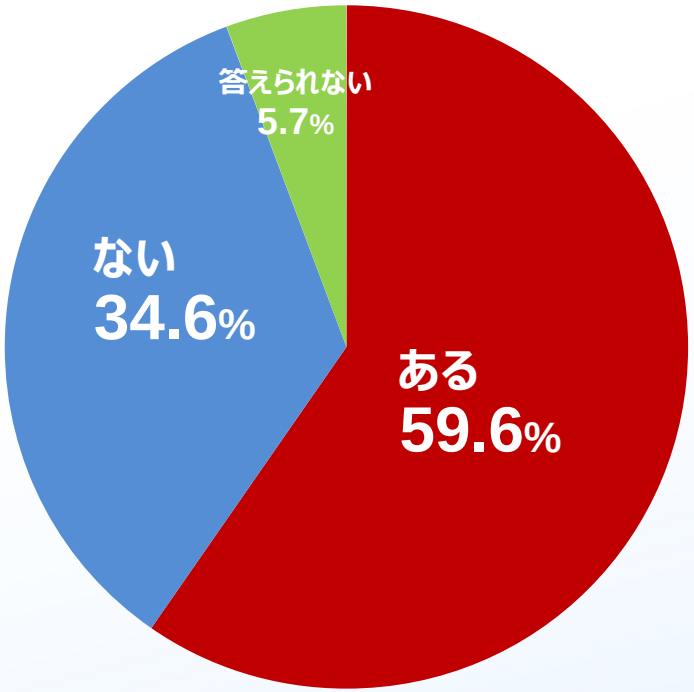
多くの従業員は「宛先間違い」以外の「添付ファイル間違い」「Bcc:指定をTo:やCc:指定としてしまう」といった情報漏洩につながる誤送信に対する認識が低いことがわかる。

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

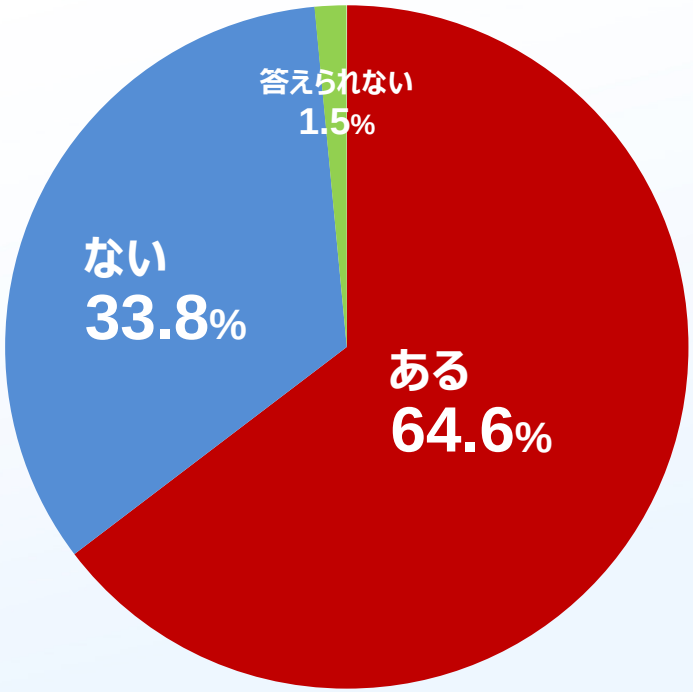
メール誤送信の発生状況

Q 自身または従業員が業務中にメールの誤送信をした経験はありますか？

＜情報システム管理者＞



＜従業員＞

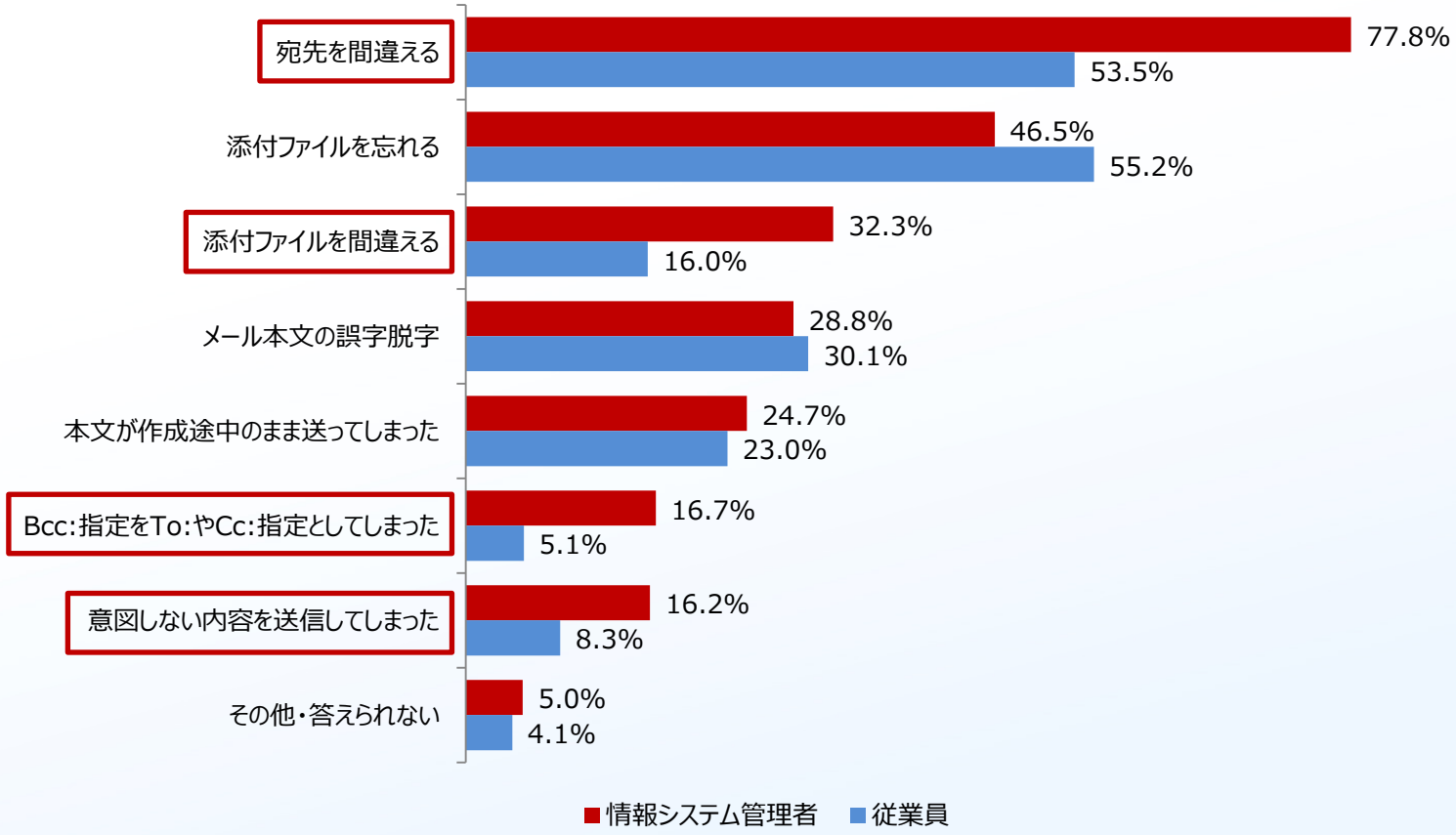


従業員の64.6%が業務中にメールを誤送信したことが「ある」と回答。
情報システム管理者の59.6%が「従業員による誤送信が発生した」と回答。

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

メール誤送信の内容

Q 誤送信の内容はどういったことでしたか？ <複数回答可>



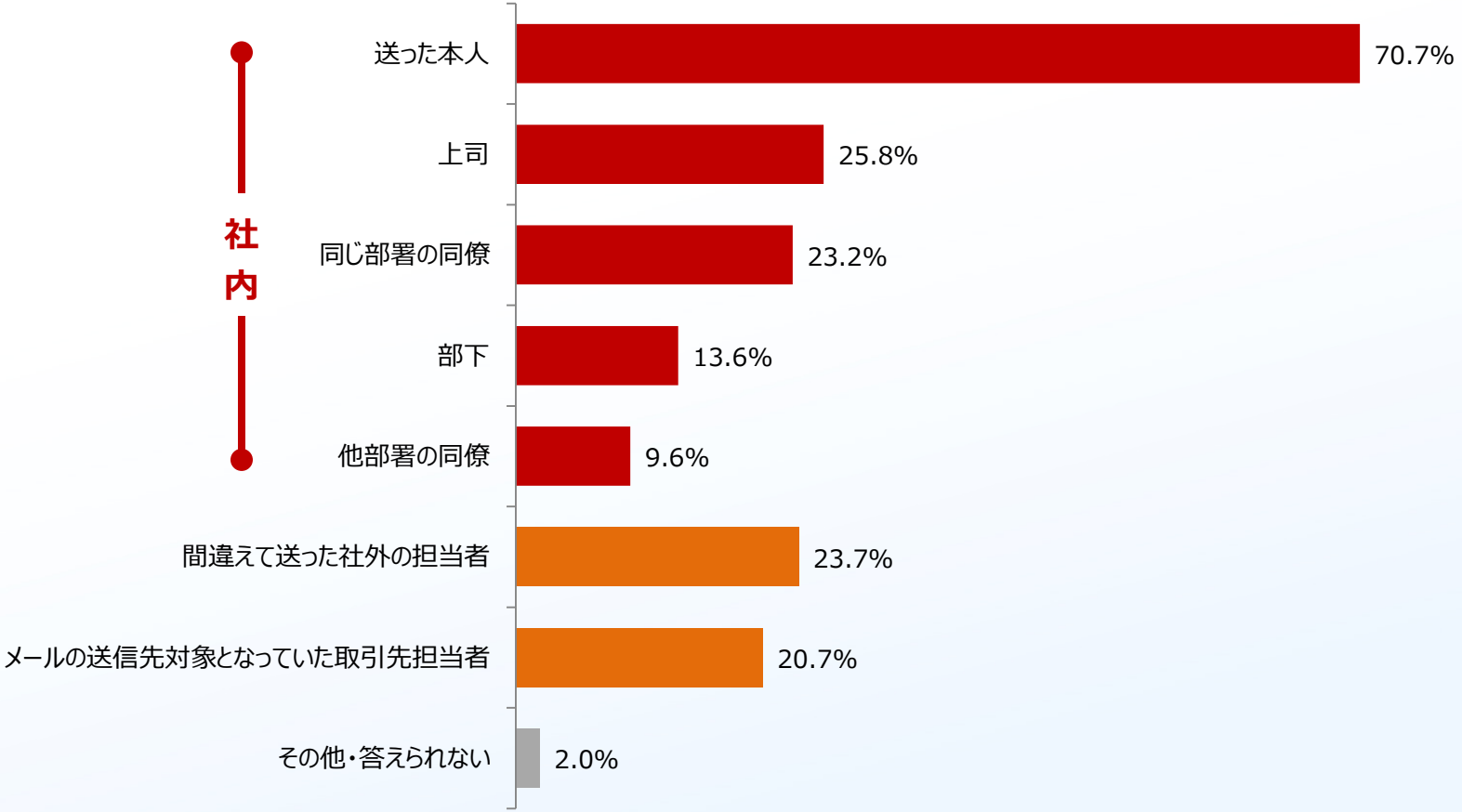
「宛先間違い」に加えて「添付ファイル間違い」、「Bcc指定をToやCc指定としてしまう」など、情報漏洩につながる誤送信も多数起きている。

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

メール誤送信に気づいた人

Q 誤送信には誰が気付きましたか？ <複数回答可>

情報システム管理者



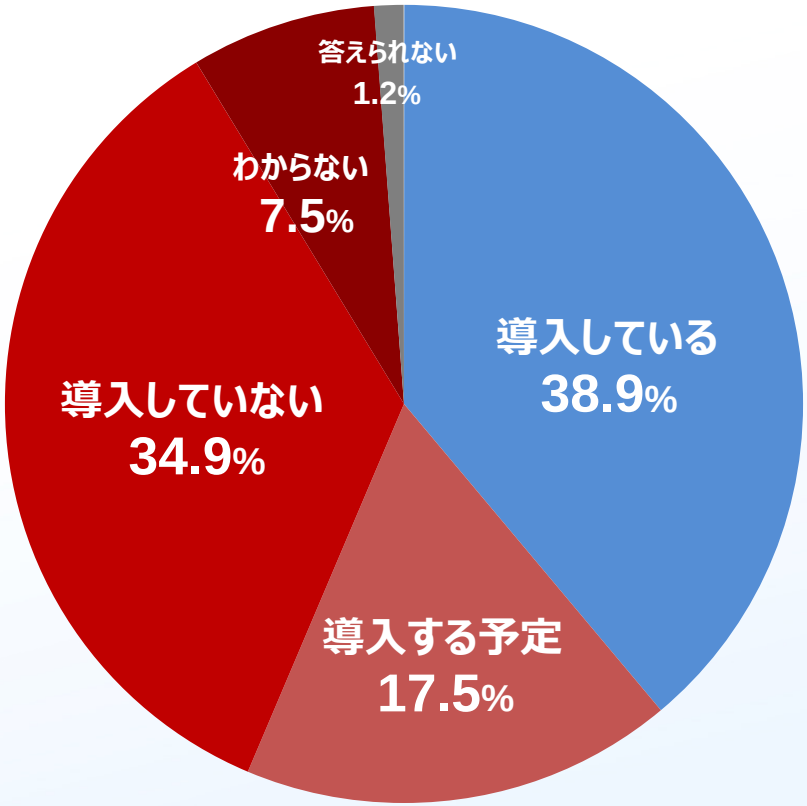
誤送信に気がついたのは、「送った本人」「上司」「部下」「同僚」など、
送信後に「送信者本人」または「社内」で気づくことが多い。

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

メール誤送信ソフトの導入状況

Q あなたの会社ではメールの誤送信対策ソフトは導入されていますか？

情報システム管理者

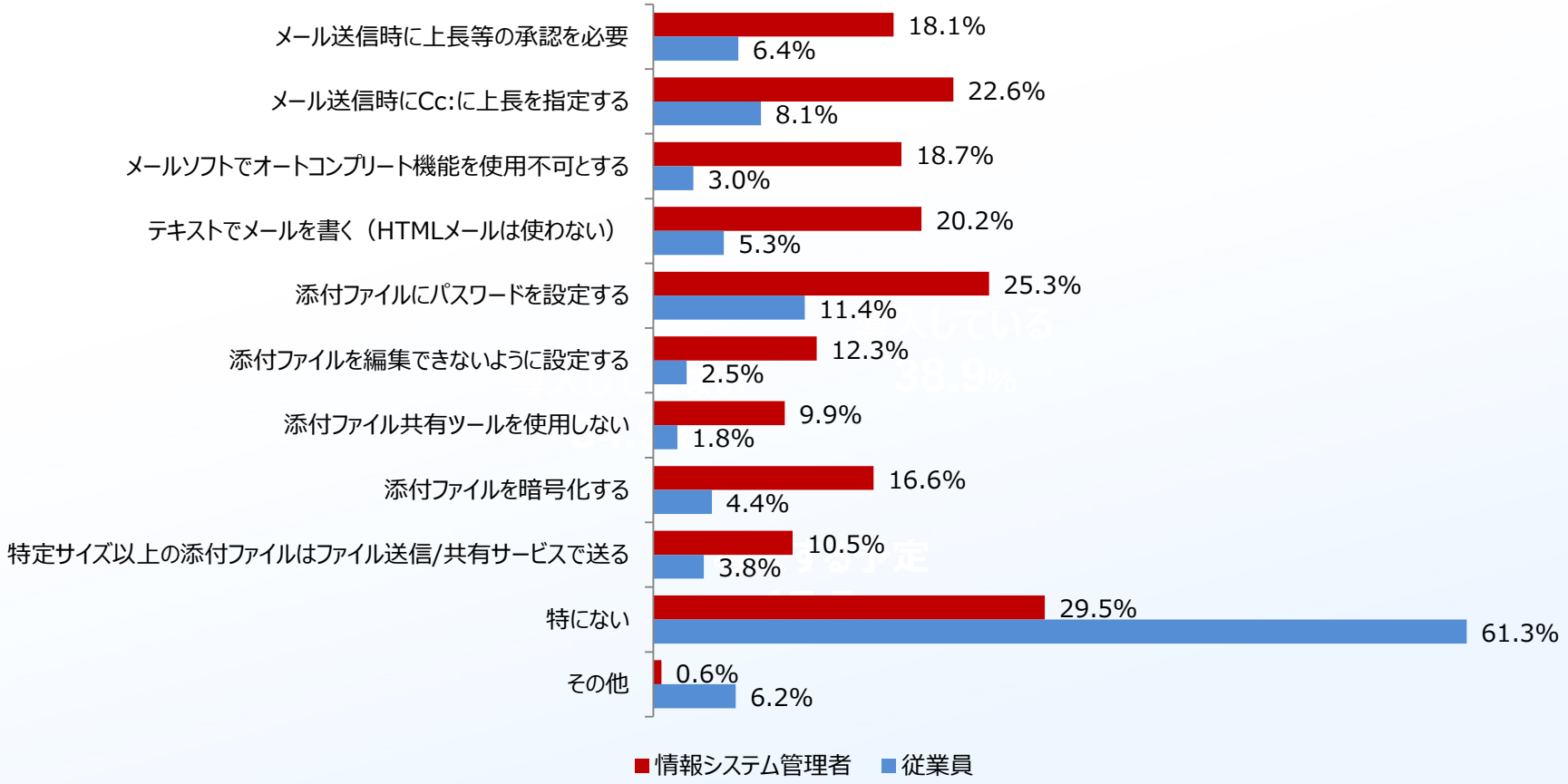


「今後導入する予定」を含めて、企業・団体の59.9%が誤送信対策ソフトを未導入

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

メール送受信に関する社内ルール

Q 社外とのメールの送受信に関して、勤務先ではどのようなルールがありますか？ <複数回答可>



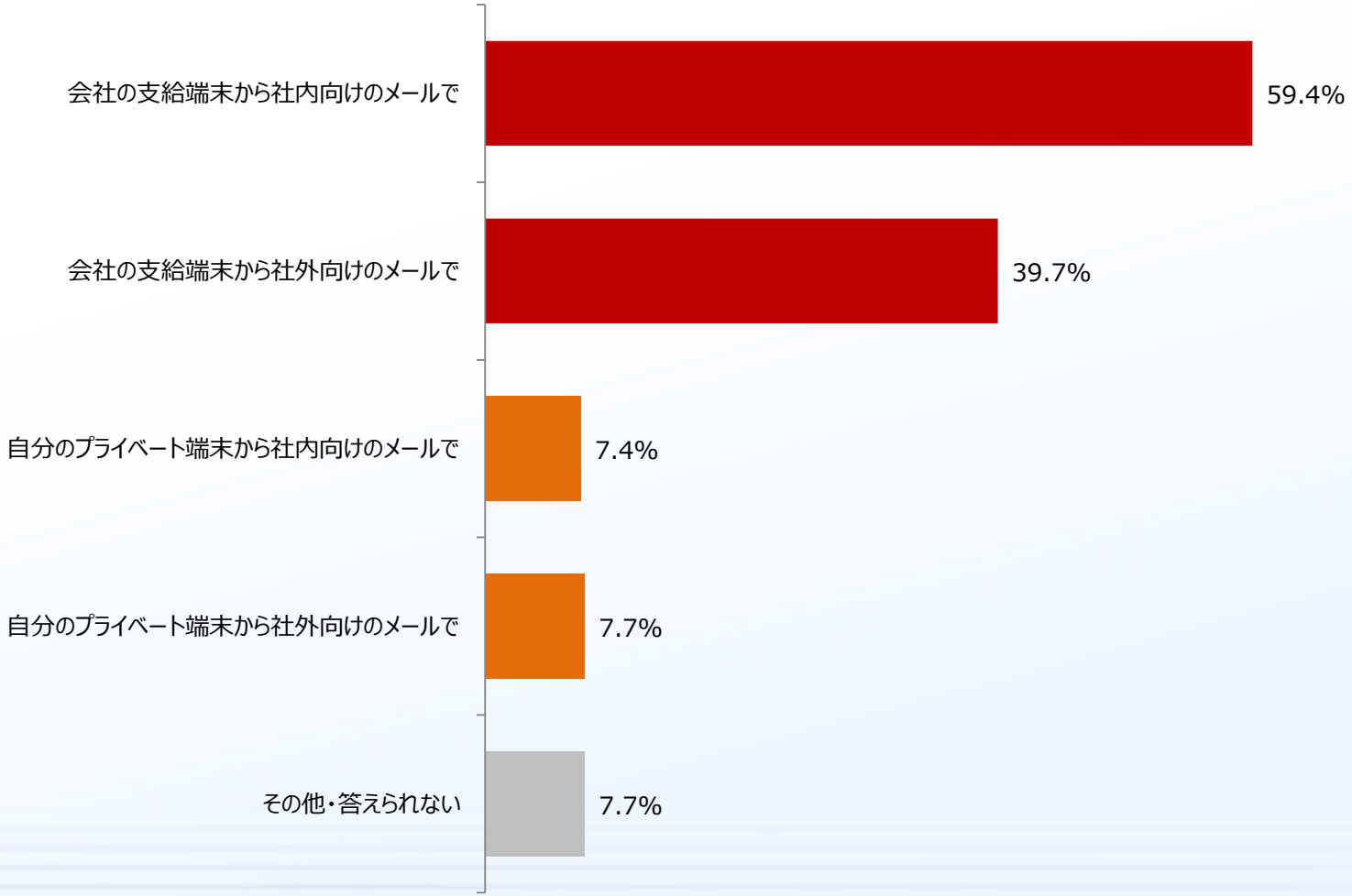
管理者が様々なルールがあると回答している一方で、従業員の多くが「特にルールがない」と回答。
メール送受信時の社内のルールは、多くの従業員に認識されていない。

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

メール誤送信の詳細

Q どの端末から、誰宛にメールを誤送信したのですか？ <複数回答可>

従業員

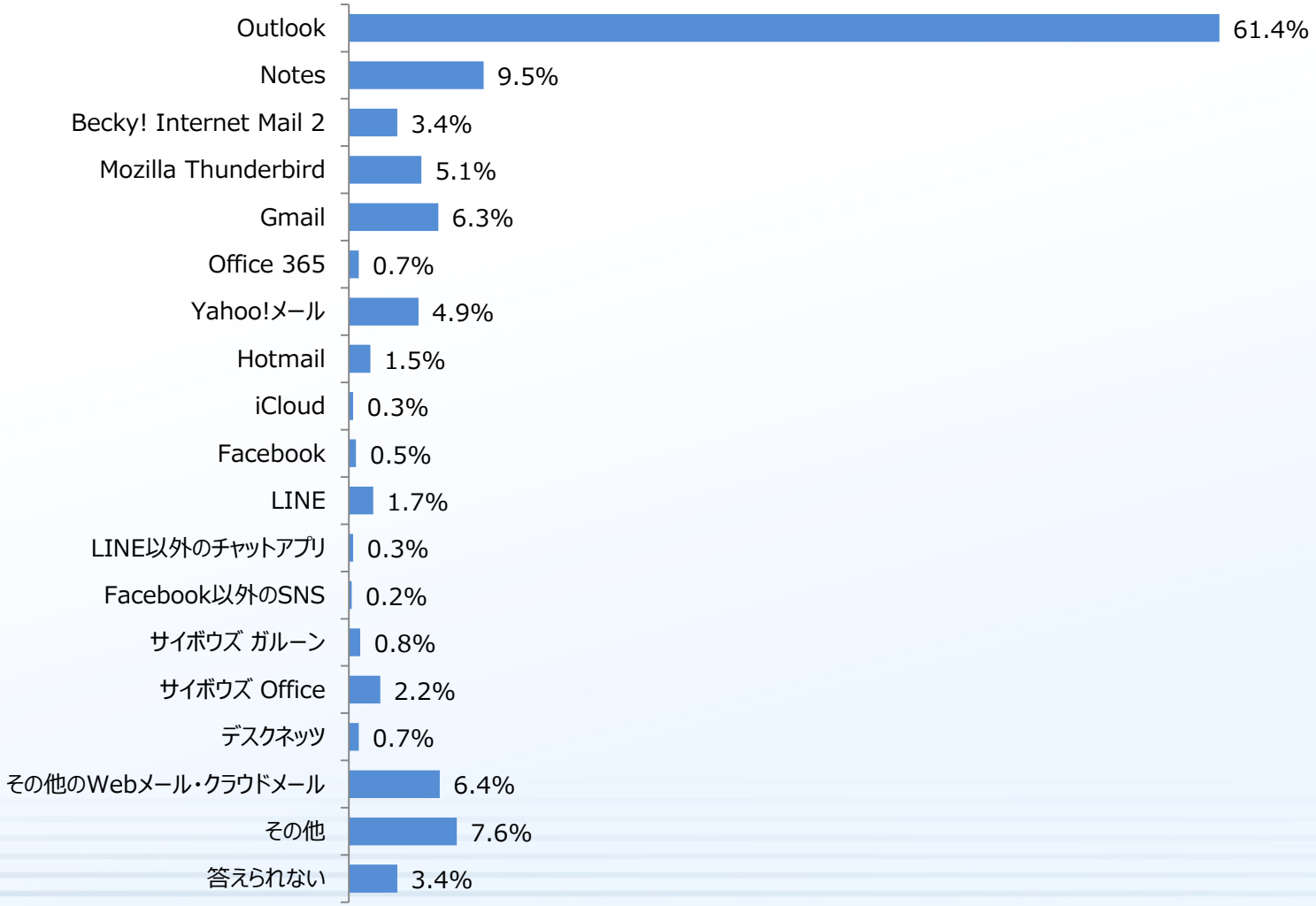


Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

利用しているメーラー

Q どのメーカーのメールソフトまたはメールシステムを使っていますか？

従業員

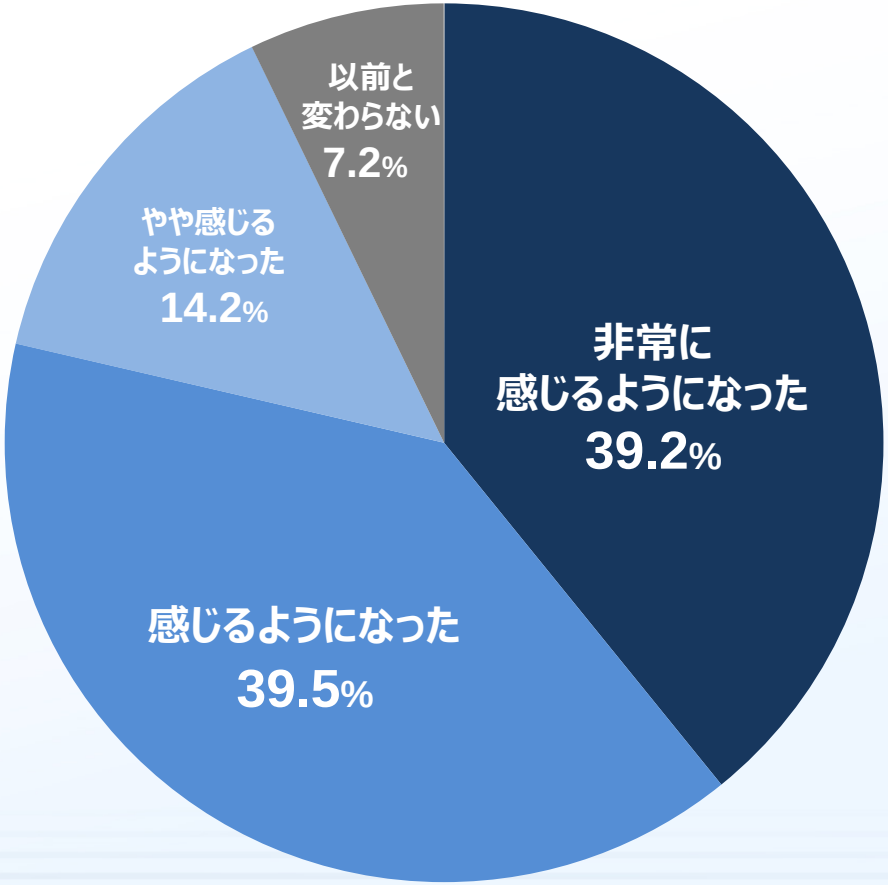


Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

情報漏洩対策に対する意識

Q 大手企業の情報流出事件を受けて、社内・取引先からの情報漏洩対策の必要性を感じますか？

情報システム管理者



Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

調査結果のまとめ

従業員の64.6%が誤送信を経験

メール送受信時の**社内ルールが、従業員にあまり認識されていない**

多くの従業員は、「宛先間違い」以外のメール誤送信が
情報漏洩につながるという認識が低い

情報漏洩への意識が低い一方で、
情報漏洩につながるメール誤送信が多数発生している

メール誤送信は、送信後に**送信者自身または社内で気づくことが多い**

多くの企業・団体が、情報漏洩対策の必要性を感じているが、
企業・団体の59.9%が誤送信対策ソフトを未導入

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

総括

誰もが起こす可能性があるメール誤送信。しかし従業員のセキュリティ意識は決して高くはありません。

メール誤送信はメール送信者の不注意や操作ミスによるインシデントであり、誰もが起こしうる可能性があります。

メール本文や添付ファイルの内容が機密情報に該当するものだった場合、特に社外とのメールにおいて**宛先や添付ファイルを間違えると無関係な企業に機密情報が漏洩してしまう**可能性があり、信頼の失墜に加えて、その後の取引に大きな損害を与えかねません。

しかし、今回実施した調査の結果では、従業員のセキュリティ意識は決して高くはありませんでした。メール誤送信による情報漏洩を回避するには、**従業員のセキュリティ意識を高めることが重要な課題**と言えますが、全従業員の意識を同じレベルに引き上げるための教育は重要ではあるものの、時間を要するため、効率的はありません。

さらに、全従業員の膨大な量のメールにおいて人に依存した目視による確認では限界があることから、企業として**システムで自動的に誤送信を防止**することが効果的です。

デジタルアーツのソリューションが確実に誤送信を防止します!!

クライアント型誤送信防止ソフト「m-FILTER MailAdviser」をご利用いただくと、メール送信者がメール送信ボタンを押した直後にポップアップ画面が起動し、宛先や本文、添付ファイル内容などに間違いがないか**チェック作業をメール送信者自身に促します**。メール送信前に「うっかり誤送信」リスクの“気付き”を与えることで、**従業員の誤送信防止意識向上**にも役立ちます。

さらに、**メールゲートウェイサーバー上で動作する「m-FILTER」**をご利用いただけば、**“添付ファイルの自動パスワードロック”** や **“To、Ccの強制Bcc変換”** などの誤送信対策機能で、**送信者が意識することなく自動的にメール誤送信対策を実現**できるため、リスクに対して意識の低い従業員の誤送信対策に有効です。

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

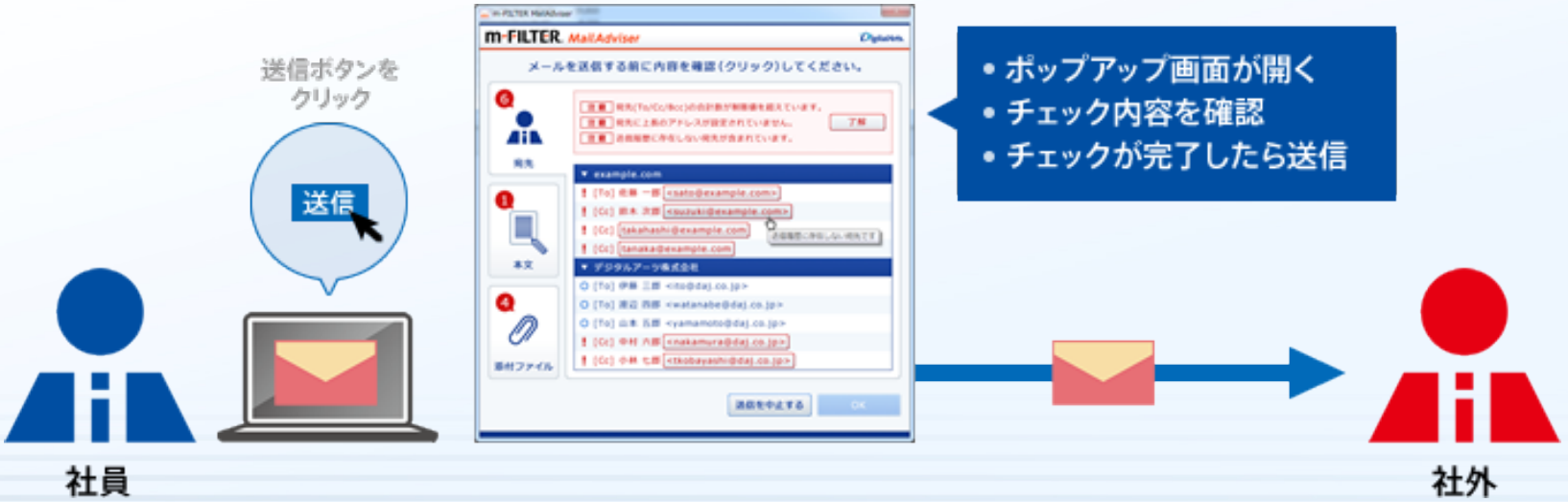
サーバー不要のクライアントソフト型
メール誤送信防止ソリューション

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

メール誤送信に気付いたら送信取り消し
従業員の意識向上に役立つクライアント型メール誤送信防止ソフト

「m-FILTER MailAdviser」は、メール送信者がメール送信ボタンを押した直後にポップアップ画面が起動し、宛先や本文、添付ファイル内容などに間違いがないかのチェック作業をメール送信者自身に促します。

メール送信前に「うっかり誤送信」リスクの“気付き”を与えることで、従業員の誤送信防止意識向上にも役立ちます。



Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

メールゲートウェイサーバー上で動作する
メール誤送信防止ソリューション

m-FILTER®

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

パスワード付きZIPファイルに自動変換

添付ファイルを自動でパスワード付きZIPファイルに変換。
手間をかけずに添付ファイルを守る

添付ファイルを自動でパスワード付きZIPファイルに変換し、開封パスワードを送信者が別メールで通知することができます。

仮に間違った添付ファイルを送信してしまっても、パスワードを通知しなければ、添付ファイルからの情報漏洩を防ぐことができます。

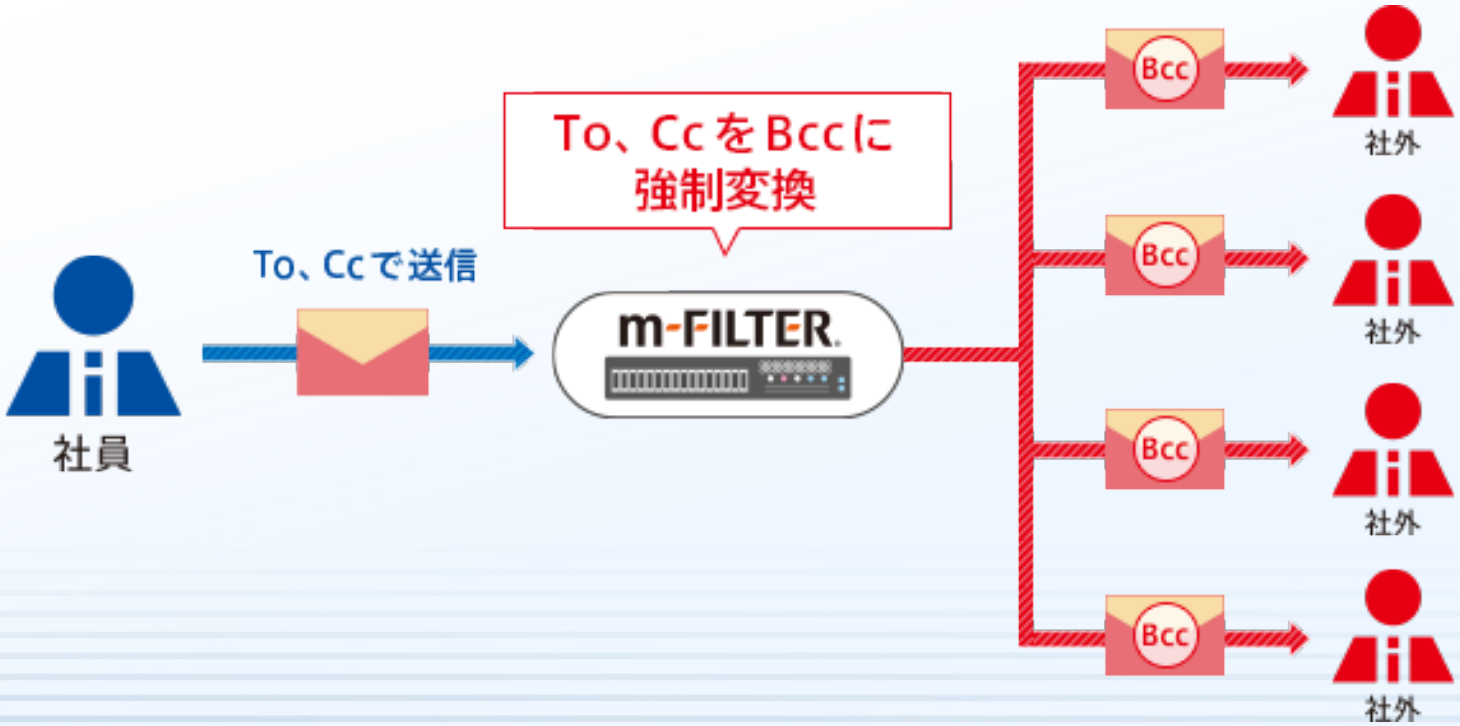
Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

Bcc強制変換機能

大量のTo、Cc指定をBccに強制変換し、個人情報の外部漏洩を防止

大量のメールアドレスがToやCCで宛先に指定されていた場合、To/Cc指定をBccに強制的に変換してメールを送信できます。

複数の取引先を含む外部宛てへの一斉メール送信時の、個人情報（メールアドレス）漏洩防止にとても便利な機能です。また、Bcc強制変換時にあわせてメール警告通知も送信者や上長含む任意宛先に送信できるため、送信者や上長に注意喚起することも可能です。



Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

上長承認機能

重要なメールは上司の承認後に送信

特定のキーワード（例：「見積もり」など）がある場合に限り、上司などの管理者が確認するまで保留させる設定もできます。

承認可能な人間を複数に指定する設定も、管理GUI上から簡単に行えます。

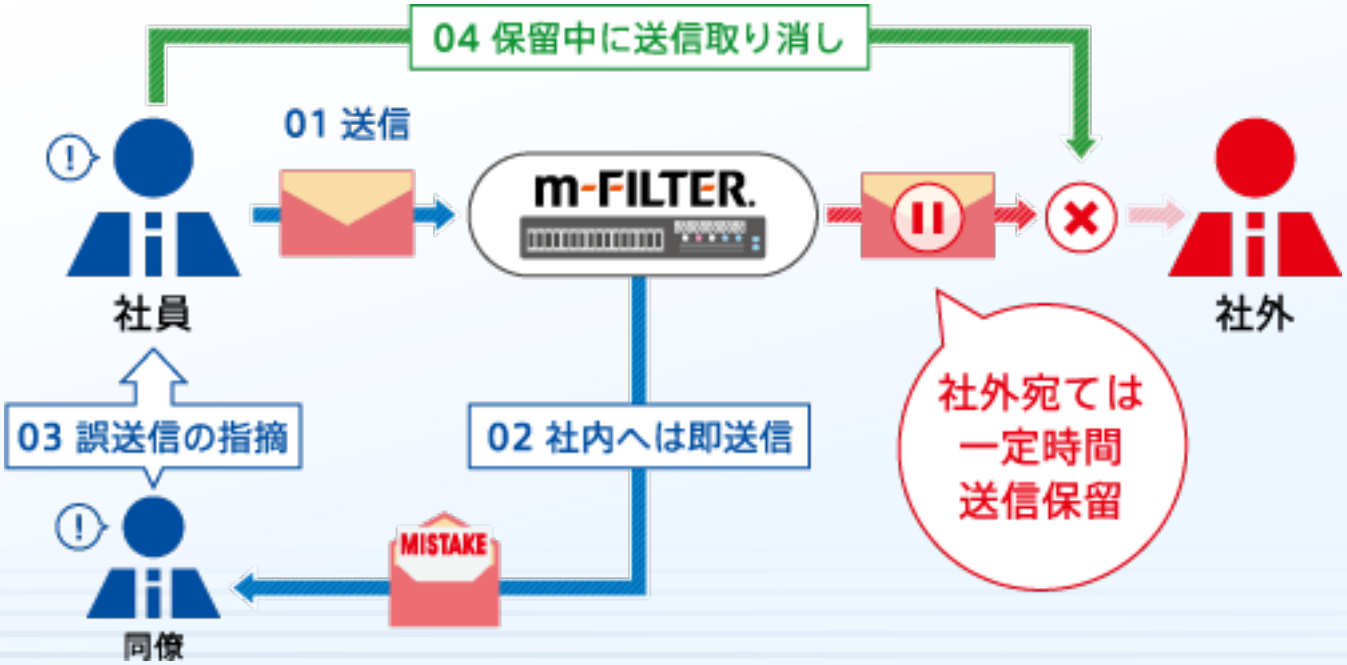
Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

宛先の社内外別の時間差配送機能

メール誤送信に気付いたら送信取り消し

「送信ディレイ（時間差配送）」機能を利用すれば、社外宛ては一定期間送信を保留、社内には即時送信できます。

送信保留中に社内で誤送信に気付いたら、社外への送信を取り消すことで、メールの誤送信による情報漏洩リスクを低減します。



Copyright © 2015 Digital Arts Inc.

デジタルアーツ株式会社　www.daj.jp
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー14F
Tel 03-5220-1110 Fax 03-5220-1130

製品に関するお問い合わせ

Tel **03-5220-3090**　【受付時間】平日 9:00～18:00（土、日、祝日、弊社指定休業日を除く）
E-Mail **sales-info@daj.co.jp**　URL **www.daj.jp/bs/**

■本資料は、2015年7月現在の情報を元に作成されています。最新の情報は弊社Webサイトをご参照ください。■デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、i-FILTER、m-FILTER はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。■FinalCode は株式会社アイキュエスの登録商標です。■本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。■仕様は予告なく変更することがあります。

お問い合わせ先

Copyright © 2015 Digital Arts Inc.